

## 株主メモ

### ■ 株式会社のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 <a href="http://www.morita119.com/kohkoku/index.html">http://www.morita119.com/kohkoku/index.html</a>
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>

上場証券取引所 東京証券取引所 大阪証券取引所

#### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

#### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛をお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

人と地球のいのちを守る

**MORITA**

株式会社モリタホールディングス

大阪本社 〒544-8585  
大阪市生野区小路東5丁目5番20号  
☎06-6756-0100  
東京本社 〒105-0003  
東京都港区西新橋3丁目25番31号  
☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>

MORITA REPORT 2010

株主・投資家のみなさまへ

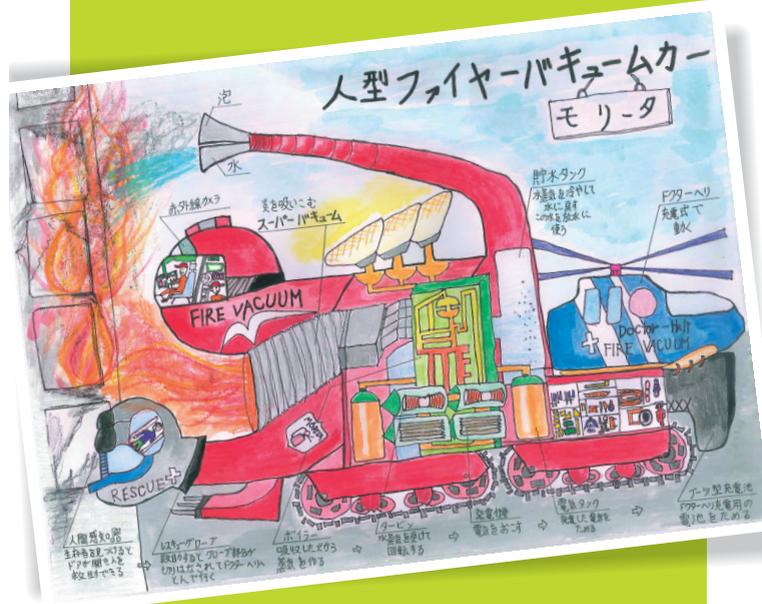
第77期報告書

2009年4月1日から2010年3月31日まで



**MORITA GROUP**

人と地球のいのちを守る



**MORITA**



環境に配慮して大豆油  
インキで印刷しています。



この冊子はユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、  
弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう  
配慮をしています。

## モリタ トピックス

### ■ 世界へ！ 林野火災用コンセプトカー

～世界最大級の消防防災展 INTERSCHUTZ2010 出展～  
森林火災は日本国内において年間2,000件以上発生し、近年米国や豪州をはじめ地球上での大規模な森林火災が増加しています。こうした火災は、森林資源の焼失や環境被害だけでなく、世界的な経済活動の悪化や健康被害等様々な損害を引き起こします。2008年10月ギリシャでの国際会議では、「大規模林野火災の初期消火ならびに延焼阻止の重要性」が指摘されました。モリタは『人と地球のいのちを守る』という使命のもと、新たな消防技術の確立に奮い立ち、本年4月、森林火災の最前線から、気象や生態林の状況を陸・空・消防本部と通信し、有効な消火戦術を指揮するための、コンセプトカーを開発し発表いたしました。



#### コンセプトカーの主な特徴

- 車両後部に各部隊と情報を送受信できるオペレーションデッキを配置
- 電動水圧式昇降ポール照明とカメラを搭載して現地画像を配信
- 放水銃が設置され、走行しながら消火活動を行う
- CAFSユニット搭載

### ■ 最新鋭のはしご車

#### SUPER GYRO LADDER MLLシリーズを開発

～世界最大級の消防防災展 INTERSCHUTZ2010 出展～  
モリタは、「1秒でも速く救助・消火活動を行いたい」という思いから、はしごの軽量化を図り伸縮スピードを向上させるとともに、はしごの操作を記憶し、何度も同じ動きを繰り返しできる最新の制御装置など、数多くの新技術を搭載したはしご車「SUPER GYRO LADDER MLL シリーズ」を開発いたしました。はしごの揺れを制御する装置はもちろん、伸縮・起伏を自動的に制御し、バスケットの水平や垂直移動を簡単にしたり、1操作で複雑な動きを行うなど、使いやすさを重視した最新車両です。これぞ“モリタ”と言える技術力で安全・安心に応えます。



### ■ CAFS搭載車両が続々!! 装備も充実。

現在、消防車のスタンダードとなりつつある、新しい消火戦術CAFS (Compressed Air Foam System=圧縮空気泡消火装置) を搭載した車両は、その有効性を評価され、今日まで約300台が自治体へ納入されました。モリタは、阪神大震災を教訓に、水利の悪い状況下でも、少量の水で消火能力を発揮できる消防車が必要と2007年にCAFSを開発。以来、昨年には圧縮空気を動力源として有

効活用したエゼクタ水装置のCAFS車の開発に成功。本年5月には、CAFS能力を最大限に活かすため摩擦を最小限に抑えた放水ノズルを発



表いたしました。このノズルは、CAFSと水の切り替えは勿論、消防隊員の領域を自衛噴霧することが可能で、熱と煙から消防隊員を守り、安全な消火活動をサポートします。

CAFS搭載車両は、泡による冷却と窒息効果で消火効率を上げ、消火作業による水損を最小限に防ぐことができるモリタが提案するシステムです。

## ■古い消火器が、新しい森になる 「エコウータン募金」がはじまりました



消火器の老朽化による事故を未然に防ぎ、安心して消火器を設置していただくため、本年1月より(社)日本消火器工業会の広域認定制度システムによる、メーカーの垣根を越えた消火器の回収がスタートしました。モリタ防災テックと宮田工業でも、全国の営業所・販売代理店を通して古い消火器の回収を積極的に行い、本年4月からは『エコウータン募金』として、回収費用のうち1本あたり「1円」を特定非営利活動法人アジア植林友好協会へ寄付しています。

オランウータンの生存数は熱帯雨林の生態系の健全度を表すバロメーターと言われていています。彼らは植物の種子を撒く役割を持ち、森林を維持発展させるために欠かせない存在です。オランウータンが元気に棲息できることは、熱帯雨林も健全に繁茂していることを意味します。

世界の森林に1本でも多くの植林がなされ、動物たちの安全な場所が確保されることを強く願っています。

## ■株式会社ミヤタサイクルを新設分割

1890年の安全型自転車国産第1号車試作の成功から120年、宮田工業の歴史を築いてきた自転車部門が新しい第一歩を踏み出しました。本年6月1日に同社の自転車販売事業を新設分割により分社化し、当社の100%子会社として「株式会社ミヤタサイクル」を設立。お客様のニーズに合った製品、サービスをより機動的に提供するマーケティング主導型事業運営体制への転換を図り、一層の事業競争力の強化と成長力の加速を目指してまいります。

宮田工業は、昨年8月には、世界54カ国で発売されるグローバルブランド『MERIDA』(メリダ社)の日本における独占販売契約を締結し、スポーツバイク市場に向けて入門クラスから本格的ハイエンドクラスまで、愛好者が納得する魅力的なラインアップを展開しています。



Scultura EVO TEAM-20

## トップメッセージ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社第77期の報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申し上げます。

## 営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益に一部持直しが見られたものの、設備投資の抑制や個人消費の低迷等、景気は先行き不透明なまま推移いたしました。

このような環境のもと当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進と経費削減による収益力の強化に努めてまいりました。

この結果、消火設備及び産業機械部門の受注減はありましたものの、補正予算により消防ポンプ部門の業績が大きく伸びたことから、当期の売上高は、前期比5,032百万円増加し61,737百万円(8.9%増)となり、営業利益は前期比1,839百万円増加し4,223百万円(77.2%増)、経常利益は前期比1,720百万円増加し、上場以来過去最高益となる4,503百万円(61.8%増)となりました。当期純利益は、減損損失316百万円等を特別損失に計上しましたが、経常利益の大幅な増益により、前期比924百万円増加し2,044百万円(82.6%増)となりました。

## ■ 新型スクラップ処理切断機&プレス機 「エコロジーギロ」「35PAL型プレス」

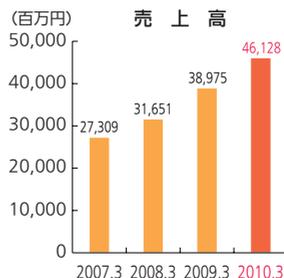
モリタ環境テックの主力製品であるギロチンシリーズに新しく「エコロジーギロ」が加わりました。建造物の解体現場から発生する金属くずの切断加工を担う大型機械のギロチンシリーズにおいて、従来機より4分の3の省スペースで設置ができ、新油圧ユニットの採用で低騒音・低振動・省動力化を実現。ユーザーの期待に応える戦略機です。また、「35PAL型プレス」は同じコンセプトのスクラッププレス機。省エネルギーと環境は、いま時代の大きなキーワードです。われわれは省エネ・循環型社会の一翼を担う商品を提案します。



**表紙** 全国の小学生を対象とした第5回「未来の消防車」アイデアコンテスト最優秀賞 匹田昇太郎くん(東京都国分寺市:小学2年生)の作品です。

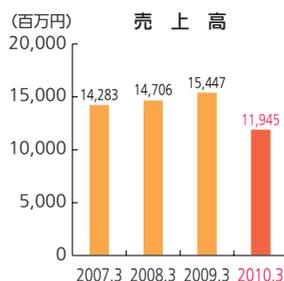
## セグメント別の概況

### ■防災関連事業



防災関連事業におきましては、売上高は、補正予算による消防ポンプ部門の売上台数の増加及び、前年第3四半期からの宮田工業株式会社の連結子会社化により、前期比7,153百万円増加し46,128百万円(18.4%増)となり、営業利益は消火器・消火設備部門は設備投資の抑制が続いていることから苦戦いたしました。消防ポンプ部門の大幅な増収により、前期比2,501百万円増加し4,337百万円(136.2%増)となりました。

### ■環境関連事業



環境関連事業におきましては、売上高は、ギロチンプレス・スクラッププレス等の産業機械部門及び塵芥車等の環境保全車輛部門の受注、売上が低迷し、前期比3,502百万円減少し11,945百万円(22.7%減)、営業損益は前期比498百万円減少し10百万円の損失となりました。

### ■その他事業

その他事業の自転車部門におきましては、売上高は3,663百万円、営業損益は97百万円の損失となりました。

## 対処すべき課題

経営環境はますます厳しさを増し、急激に変化していくものと予想されます。当社は、この変化に対応しつつ、メーカーの原点である「技術の向上」と「顧客満足の実現」に立ちかえり、顧客に支持される強いブランドづくりを目指します。そして、具体的な対処すべき課題は次のとおりであります。

- ①既存事業の収益力強化
- ②海外事業の収益拡大
- ③高付加価値製品の投入によるマーケットシェアの向上
- ④人材育成

当社グループは、経営のスピードアップ、収益力の強化により企業価値の一層の向上を目指してまいります。

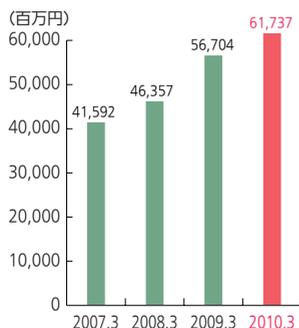
株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月

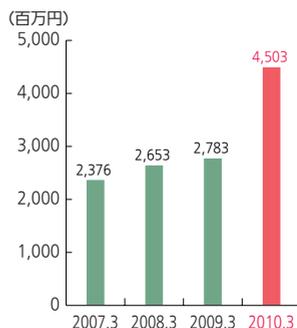
代表取締役社長 中島 正博

## 財務ハイライト(連結)

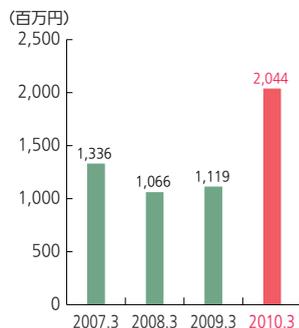
### ●売上高



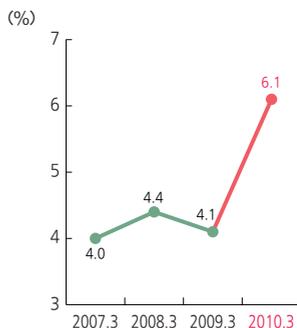
### ●経常利益



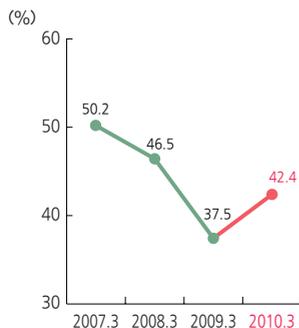
### ●当期純利益



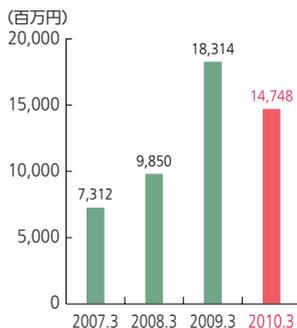
### ●総資産経常利益率(ROA)



### ●自己資本比率



### ●有利子負債



## 連結財務諸表

### ●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期 (平成21年3月31日現在)	当期 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	37,178	36,269
固定資産	37,131	36,789
<b>資産合計</b>	<b>74,310</b>	<b>73,058</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	29,506	25,495
固定負債	15,453	16,260
<b>負債合計</b>	<b>44,960</b>	<b>41,756</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	29,798	32,608
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	4,362	3,743
利益剰余金	23,400	25,142
自己株式	△2,711	△1,023
評価・換算差額等	△1,935	△1,644
その他有価証券評価差額金	△269	150
繰延ヘッジ損益	△4	△15
土地再評価差額金	△1,600	△1,728
為替換算調整勘定	△61	△50
少数株主持分	1,486	338
<b>純資産合計</b>	<b>29,349</b>	<b>31,302</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>74,310</b>	<b>73,058</b>

## ●連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売 上 高	56,704	61,737
売 上 原 価	44,794	47,300
売 上 総 利 益	11,910	14,437
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	9,526	10,213
営 業 利 益	2,383	4,223
営 業 外 収 益	710	628
営 業 外 費 用	310	347
経 常 利 益	2,783	4,503
特 別 利 益	323	69
特 別 損 失	1,594	579
税金等調整前当期純利益	1,512	3,993
法人税、住民税及び事業税	1,189	2,299
法人税等調整額	△942	△364
少数株主利益	147	13
当期純利益	1,119	2,044

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,269	764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,509	△950
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,492	△4,037
現金及び現金同等物の増減額	5,252	△4,224
現金及び現金同等物の期首残高	3,947	9,200
現金及び現金同等物の期末残高	9,200	4,976

## ●連結株主資本等変動計算書(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本合計
平成21年3月31日残高	4,746	4,362	23,400	△2,711	29,798
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△430		△430
当期純利益			2,044		2,044
自己株式の取得				△61	△61
自己株式の処分		△619		1,749	1,130
土地再評価差額金の取崩			128		128
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—
連結会計年度中の変動額合計	—	△619	1,741	1,687	2,810
平成22年3月31日残高	4,746	3,743	25,142	△1,023	32,608

	評 価 ・ 換 算 差 額 等					少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	その他有価証券評価差額金	繰上償還	延滞利益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定		
平成21年3月31日残高	△269	△4	△1,600	△61	1,486	29,349	
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当						△430	
当期純利益						2,044	
自己株式の取得						△61	
自己株式の処分						1,130	
土地再評価差額金の取崩						128	
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	419	△11	△128	10	△1,148	△857	
連結会計年度中の変動額合計	419	△11	△128	10	△1,148	1,953	
平成22年3月31日残高	150	△15	△1,728	△50	338	31,302	

## 会社の概要

### ■ 概要

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理および管理 間接業務の受託

### ■ グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 〔はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防 車両ならびに特殊車両の製造販売〕
株式会社モリタ防災テック	東京都港区西新橋3丁目25番31号 〔粉末ABC消火器をはじめ、その他各種防 災機器の販売、防災設備の設計施工なら びに保守点検〕
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 〔リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理 施設の設計施工ならびに各種大型油圧機 械の製造販売〕
株式会社モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 〔衛生車、塵芥車等の環境保全車両の製造、 販売〕
株式会社モリタテクノス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号 〔消防車・救助用資機材等のアフターサー ビス・メンテナンスならびに電子応用機 械器具・情報処理機械器具の製造、販売〕
宮田工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 〔消火器を中心とした消火関連機器、消火 装置、その他各種防災機器・設備の製造、 販売ならびに各種自転車の製造〕

株式会社モリタ総合サービス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
株式会社ミヤタサイクル	東京都港区西新橋3丁目25番31号
株式会社アルボ	静岡県磐田市上神増1479-1
株式会社モリタユージー	東京都千代田区神田須田町2丁目3番地5
株式会社モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社モリタ東洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
南京晨光森田環保科技有限公司	中国南京市江寧經濟技術開發区 天元中路188号
四川森田消防裝備製造有限公司	中国四川省成都市温江区成都海峡兩 岸科技園新華大道一段8号
康鴻森田(香港)有限公司	香港中環夏愨道10号和記大廈1909室
MORITA VIETNAM COMPANY LTD.	Minh Duc Commune, My Hao District, Hung Yen Province, Vietnam

### ■ 役員

代表取締役会長	新村 鋭 男
代表取締役社長	中島 正博
取締役	白井 幸喜
取締役	北村 賢一
取締役	土谷 和博
取締役	川口 和三
常勤監査役	浅田 栄治
常勤監査役	佐々木 純
常勤監査役	早川 尚男
監査役	松村 和宜
執行役員	岩室 敏彦
執行役員	浦野 ヒロ子
執行役員	坂本 直久
執行役員	金岡 真一